

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20R3
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: ICT・電子デバイス、ものづくり分野
研究開発課題名	: 750°Cの高温環境にも適用可能な光ファイバ超音波センサに基づく構造物の健全性診断技術
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 岡部 洋二(東京大学)

評価結果の総合所見

本課題は、750°Cの高温環境下での構造物診断の実現に向け、新たな光ファイバ超音波センサの開発を目指すものである。

概ね目標を達成し、企業との共同研究も進んでおり、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。

着実に開発を進め、光ファイバの耐高温、強度は向上しており、高く評価できる。また、再生スペクトルの感度向上にも効果的な成果がでている。今後は、企業化に向けてどのような環境下で利用されるかも想定し、実用化の項目立てをして研究を進めることを期待する。

以上